

月刊きょうと教育通信

vol. 16 平成16年3月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

教育改革の一層の推進を！「教育の先進都市・京都」16年度予算(案)

<「教育改革」推進を支える予算>

教育と福祉を最重視する梶本頼兼市長の3期目最初の予算となる平成16年度予算案では、将来にわたって着実に京都を発展させる取組に財源を重点配分する「戦略的予算編成システム」が導入されました。

教育委員会では、事務事業の聖域なき見直しに取り組む一方、「35人学級の2年生への拡大」など教育改革の一層の推進と政令指定都市初となる「小・中学校全普通教室冷房化」や学校のIT化を図る「全校校内LAN整備」などの新たな学習環境向上の取組に予算を重点配分し、実質、前年度プラス予算を確保しました。

<主な新規事業>

小・中学校全普通教室冷房化の推進(8億9,800万円)<政令市初>
市立学校全校校内LAN整備5年計画(3億8,083万円)
みやこ子ども土曜塾(2000万円)
不登校生徒のための中学校開設(892万円)<政令市初>
みやこ学校創生事業(3億円)
特別支援教育「学校サポートチーム」設置(1,000万円)
子ども体育館整備(1億8,700万円)
市立高校ハイパークリエイティブプロジェクト(5,000万円)
市立学校学習指導ステップアップ大綱の作成と実践(2,600万円)
右京中央図書館(仮称)整備推進(100万円)

<主な充実事業>

小学校2年生「35人学級」拡大(3億3,600万円)
スクールカウンセラー中学校全校配置(1億4,440万円)
学校安全対策の推進(6,000万円)

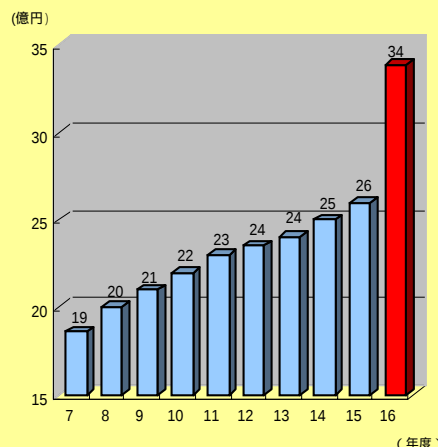
**教育予算(実質)前年度比は
大型建設事業終了後も0.1%アップ**

項目	16年度	15年度	前年度比較	前年度比
教育費	521億9,500万	565億5,300万	-43億5,800万	-7.7%
内訳	学校等運営費	161億3,000万	-4億8,700万	-2.9%
	建設等施設整備	128億2,800万	-30億8,200万	-19.4%
	人件費	232億3,700万	240億2,600万	-3.3%
堀川高校本館学舎整備	7億5,000万	1億9,000万	5億6,000万	+295.3%
京都御池中・複合施設建設	38億5,000万	—	38億5,000万	皆増
合計(実質事業規模)	567億9,100万	567億4,200万	+4,900万	+0.1%

PFI方式で整備する「京都御池中・複合施設」を従来方式で整備した場合の建設費

**学校維持管理費は33億8200万円
(9年間で1.8倍)**

16年度は「冷房化」「校内LAN」「安全対策」推進のため大幅増額



この10年来の全庁的なマイナスシリーングの中、学校運営予算は平成15年度まで毎年増額を図ってきました。

平成16年度は、新たな取組を実施するため、学校運営予算も初めて削減しておりますが、一方で従来の事業別予算を統合して合算執行できる範囲を学校経常運営費に含まれるすべての事業に拡大し、より効率的な予算制度改革を行っています。

指導の重点(縮刷版)「ポケット重点」をUP! 教育計画課のホームページから手帳サイズの指導の重点を印刷できます。

学校・幼稚園敷地内が 4月から全面禁煙に

2月27日、5回にわたって開催した教職員対象の15年度禁煙サポートセミナー(118名参加)が終了しました。

これは、平成16年4月からの学校敷地内全面禁煙に向けて行ったもので、禁煙への心構えや、たばこの害、ニコチン代替療法などについての具体的な説明に対し、多くの教職員から、「今日から、たばこをやめようとの決意がもてた」など、禁煙に向けて積極的な声が聞かれました。

「京都市民健康づくりプラン」(14年策定)では、たばこに関して、未成年者の喫煙防止教育の強化と学校などの教育機関での禁煙の推進という目標を掲げています。各学校では、これまでから子どもたちに対する喫煙防止教育を進めるとともに、多くの学校・幼稚園において「喫煙コーナー」を設けての分煙や、時間分煙など取組を進めてきました。

また、これらの取組をさらに推進するため、校園長会の代表や教育委員会の関係課で構成する「学校・幼稚園における禁煙対策連絡調整会議」を15年3月に設置



し、子どもたちにとって安全な学校づくりを進める観点から、教職員だけでなく、学校・幼稚園に来られる全ての方を対象とする「敷地内全面禁煙」の早期実現に向け協議を重ねるとともに、地域との協議や教職員研修「卒煙ハンドブック」の全校配付等により、禁煙の重要性について周知してきました。

その結果、健康づくりプランにおける設定目標期間の2010年(平成22年)に先駆け、16年4月からの全面禁煙となったものです。

今後とも、学校敷地内全面禁煙の円滑な実施のため、市民の皆さん方のご協力をよろしくお願いします。

ご意見・お問合せ＝体育健康教育部(213-5472)

<3月の主なできごと>

- 1日 京都市博物館ボランティア交流会
- 6日 第8回京都ゴールデンエイジ合唱の集い
- 8日 京都市中学校体育表彰
- 10日 人づくり21世紀委員会・北区ふれあいトークキング
- 12日 京都市伝統産業の日(着物を着て来場されると学校歴史博物館などの京都市施設の入場料が無料になります)
- 13日 人づくり21世紀委員会・左京子どもふれあいカーニバル
- 15日 京都市立学校文化芸術表彰式
- 20日 第6回市民天体観望会
- 22日 音楽高校卒業演奏会
- 24日 粟田小学校閉校式・有済小学校閉校式

注 目

政令市初 小中一貫教育特区の認定

3月24日に内閣総理大臣の認定を受け、16年度から、陶化中・陶化小・東和小・山王小と大宅中・大宅小の2中学校ブロックにおいて小学校での「英語科」の新設や算数・数学のカリキュラムの弾力化などの取組を推進します。

届けよう、未来へのメッセージ 不登校問題フォーラムを開催



2月22日、不登校の子どもへの支援のあり方を考えるシンポジウム、第4回「不登校問題フォーラム」をこどもパトナで開催しました。

このフォーラムは、不登校問題に関わっている学校、保護者、医療機関、児童相談所、教育委員会などの代表で組織している「京都市不登校児童・生徒適応支援連携協議会」と教育委員会が、お互いの役割を果たす中で、どのように連携・協力していけるかを見出すために開いているもので、今年は約200人が参加しました。

藤原勝紀教授(京都大学大学院教育学研究科長)をコーディネーターとして、不登校の子どもが学ぶ兵庫県の「生野学園」学園長、本市のスクールカウンセラー、不登校経験のあった子どもをもつ保護者がパネリストとなり、不登校の子どもたちの未来を切り拓くために、どう関わり、何ができるか、それぞれの体験談をもとにした熱い議論が交わされました。

ご意見・お問合せ＝生徒指導課(213-5622)